



縄文の造形美と棟方志功展



美郷町石名館遺跡出土《遮光器土偶》(右・正面、左・背面)
東京国立博物館所蔵 Image:TNM Image Archives

棟方志功《松ノ大木図》(四曲一双) 大原謙一郎氏所蔵 Image:倉敷考古館提供



令和元年 11.1 (金) — 12.1 (日)

美郷町学友館

[開館時間] 午前9時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで
[休館日] 毎週月曜日(ただし11月4日は開館)、11月5日(火)
[観覧料] 一般 300円(200円) ※ () 内は15名以上の団体料金
高校生以下 無料

[主催] 美郷町・美郷町教育委員会
[協力] 東京国立博物館・大原謙一郎・秋田県埋蔵文化財センター



美郷町石名館遺跡出土《香炉形土器》
東京国立博物館所蔵
Image:TNM Image Archives

里帰り展示

東北初公開

「美郷の縄文」と「棟方志功」

令和元年11月1日に合併15周年を迎える美郷町。

その記念事業の一つとして、縄文時代から現代までの当町の歴史と文化に触れる展示会を、2回にわけて開催します。

第一弾となる本展示会は、「美郷の縄文」に焦点を当て、町内の遺跡から出土した縄文土器を展示するとともに、自身の制作活動に縄文文化の影響を受けたとされる東北出身の板画家・棟方志功の作品を同時展示します。

このうち、縄文土器は、独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館所蔵の当町石名館遺跡出土品20点の【里帰り展示】となります。

また、棟方志功の作品は、公益財団法人大原美術館 名誉館長大原謙一郎氏の御協力によるもので、【東北初公開】となります。

美郷の地での先人の営みと縄文土器の造形美、東北を代表する芸術家の作品に触れることで、この地に息づく文化の継承と新たな文化の創造につなげます。



1



2



3



4



5



6



7



8

美郷町出土品・美郷町所蔵

- 1 | 美郷町一丈木遺跡出土《深鉢形土器》
- 2 | 美郷町一丈木遺跡出土《深鉢形土器》
- 3 | 美郷町石名館遺跡出土《深鉢形土器》
- 4 | 美郷町一丈木遺跡出土《深鉢形土器》

棟方志功作品・大原謙一郎氏所蔵

- 5 | 開闢鏡 東西南北版畫《東版畫 倭建命》
- 6 | 開闢鏡 東西南北版畫《西版畫 木乃花咲夜毘女》
- 7 | 開闢鏡 東西南北版畫《南版畫 須佐之男命》
- 8 | 開闢鏡 東西南北版畫《北版畫 天之宇受女命》

Image: 倉敷考古館提供

オープニングセレモニー

日時 | 11月1日（金） 午前9時30分～
会場 | 美郷町学友館 ホール

ギャラリートーク

日時 | 11月1日（金） 午前10時～午前11時
会場 | 美郷町学友館 展示館
講師 | 品川 欣也 氏（東京国立博物館 考古室長）
大原 謙一郎 氏（大原美術館 名誉館長）
参加 | 申込不要。展示会のチケットが必要。

交通のご案内



〒019-1404 秋田県仙北郡美郷町六郷字安楽寺122番地
☎ 0187-84-4040

次回
予告

美郷町合併15周年記念事業「美郷町収蔵品展」

会期 | 令和2年1月18日(土)～2月24日(月)
会場 | 美郷町学友館
内容 | 弥生時代から現代までの町収蔵品

車 / 秋田自動車道
大曲ICから国道13号を横手方面へ約20分
横手ICから国道13号を大曲方面へ約30分
電車 / JR大曲駅から約20分・JR飯詰駅から約10分
バス / 大曲バスターミナルから横手方面(六郷経由)行き
六郷上町下車 徒歩約10分

